

[畜産部門 平成 30 年度 普及する技術]

事 項 名	チモシーの奨励品種「アルテミス（登録品種名：SBT0308）」の特性		
ね ら い	本県に適するチモシーの品種を選定するため、生育特性及び生産性を調査した結果、「アルテミス」が既存の奨励品種と比較して収量性に優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
普 及 する 内 容	<p>1 来歴 雪印種苗株式会社北海道研究農場において、平成 12 年から選抜を開始し、2 番草の再生力、越冬性、耐病性等に優れた 6 個体を親株とした相互交配により育成された。種子は平成 29 年から雪印種苗株式会社が販売中である。</p> <p>2 主な特性（標準品種「アッケシ」との比較）</p> <p>(1) 発芽の良否及び定着時の草勢：優れる。 (2) 越冬性及び早春の草勢：同程度である。 (3) 出穂始日：5 日程度早い中生品種である。 (4) 越夏性：同程度である。 (5) 秋の草勢：優れる。 (6) 倒伏の発生：同程度で発生は少ない。 (7) 病害の発生：同程度である。 (8) 草丈：各番草で高い。 (9) 永続性：秋の被度がやや高いことからやや優れる。 (10) 乾物収量：3 か年平均で 106%とかなり多収である。特に 2 番草がかなり多収である。</p>		
期待される 効 果	粗飼料の安定生産に資する。		
普 及 上 の 注 意 事 項			
問い合わせ先 （電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対 象 地 域 及び経営体	県下全域の畜産 経営体
発表文献等			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「アルテミス」の生育特性及び収量 (平成27～29年 青森畜産研)

形質	品種名		備考 (評点法等)
	アルテミス	アッケシ (標準品種)	
発芽の良否	8	4	1(極不良)～9(極良)
定着時の草勢	7	4	〃
越冬性	6	6	〃
早春の草勢	6	6	〃
出穂始日	6月6日	6月11日	
越夏性	5	5	1(極不良)～9(極良)
秋の草勢	6	5	〃
秋の被度	88	84	%
草丈(1番草)	104	98	cm
草丈(2番草)	79	67	〃
草丈(3番草)	48	42	〃
倒伏程度	3	3	1(無・微減)～9(甚)
病害程度	4	4	〃

- (注) 1 発芽の良否及び定着時草勢は平成26年秋の調査。
 2 1以外の形質は平成27年～平成29年の3か年平均。
 3 病害程度は平成27年および28年(2番草)に葉枯性病害が発生。

表2 「アルテミス」の年次別乾物収量 (kg/10a) (平成27～29年 青森畜産研)

品種名	利用1年目 (平成27年)	利用2年目 (平成28年)	利用3年目 (平成29年)	3か年平均
アルテミス	1,123 (114)	982 (105)	1,094 (99)	1,129 (106)
アッケシ(標)	989 (100)	933 (100)	1,102 (100)	1,069 (100)

(注) () は標準品種を100とした指数。

表3 「アルテミス」の番草別乾物収量 (kg/10a) (平成27～29年 青森畜産研)

品種名	1番草	2番草	3番草
アルテミス	725 (105)	216 (110)	188 (103)
アッケシ(標)	689 (100)	197 (100)	182 (100)

(注) 平成27年～29年の3か年平均

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種量及び播種方法 平成26年9月17日、2kg/10a、散播
- 施肥量(10aあたり) 土壌改良資材：炭カル265kg、20%ようりん125kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=5-5-5kg
 追肥：(平成27年) N-P₂O₅-K₂O=10-6.6-6.6kg
 (平成28年、29年) N-P₂O₅-K₂O=16-10.6-10.6kg
- 刈取期 1番草：各品種の出穂期
 再生草：標準品種の草丈約60～70cmで一斉刈り